

REACH時代の製品含有物質管理で社会貢献する

GREEN eBASE概要

eBASE株式会社
市場開発部 部長 谷野賢次

REACH規則、RoHS指令の義務リスクの確認

REACHのリスク軽減のポイント

REACH遵守のポイントとなる
サプライヤ様の課題確認・共有

製品含有化学物質管理の社会的背景

●REACH規則は事実上のグローバルな法律へ

1992年 リオ地球サミット

- ・持続可能な発展のための行動の基本原則を確認した「環境と開発に関するリオ宣言」
- ・森林の多様な機能維持や、持続可能な森林経営などを確認した「森林保全原則」
- ・諸原則を実施するための百十五の行動計画からなる「アジェンダ21」

2002年 ヨハネ環境サミット

- ・予防的取組方法(precautionary approach)に留意しつつ、透明性のある科学的根拠に基づくリスク評価手順とリスク管理手順を用いて、**化学物質が、人の健康と環境にもたらす著しい悪影響を最小化**する方法で使用、生産されることを2020年までに達成する

2006年 RoHS指令(EU)

- ・電気電子機器への特定有害物質の含有を禁止
- ・対象：**鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE** 6化学物質群
- ・WEEE指令によるリサイクルが容易になるように、また埋立てや焼却処分されるときに、ヒトと環境に影響を与えないようにすることが目的

2006年 JMOSS(日本)

2007年 中国版RoHS(中国)

2006年 韓国版RoHS(韓国)

欧洲以外
にも波及

はんだの鉛フリー化
に苦慮する企業
も…

2008年 REACH規則(EU)

- ・これまでの法規を統合・包含し、責任範囲を明確化、リスク管理を強化
- ・新規化学物質だけでなく、既存化学物質の安全性も管理
- ・元化学物質だけでなく、調剤や成型品も対象

高懸念物質(SVHC)：1,500物質?
制限物質：100物質?
全登録：30,000物質?

??? ??? ???

同様に波
及する?

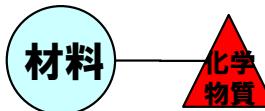
より高度な管
理を求めるこ
とに…

→ 化学物質管理負荷は増大していく方向……

背景からの必然性

●REACH遵守の必然性

従来のRoHS/ELVでは

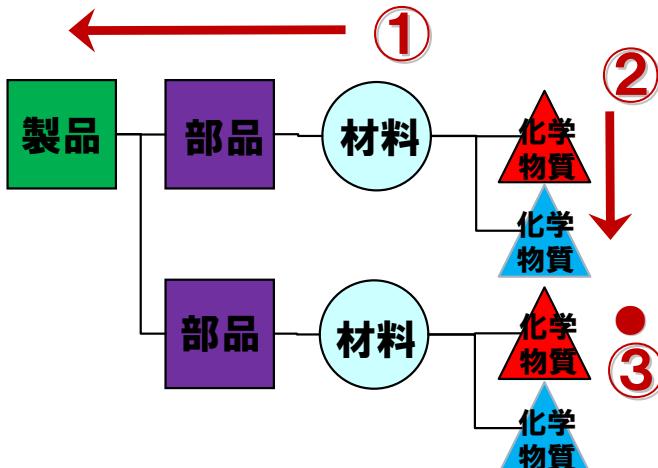


●ダメなものだけを管理(例:水銀を含んでいる/含んでいない)

構成部材中に有害化学物質を含有しているか開示する。
川下企業からは有害化学物質を含有している成型品が構成されていない
かが問われることになる。

REACH規則

REACH規則レベルでは



●サプライチェーン全域にわたる化学物質情報の共有

REACHでは、化学品メーカーが扱う原材料レベルの「物質(Substance)」「調剤(Preparation)」だけでなく、これらの原材料を使って製造された部品レベルの「成型品(Article)」内に含有される化学物質も対象

① 対象範囲の増加 …… 部材、製品も管理対象

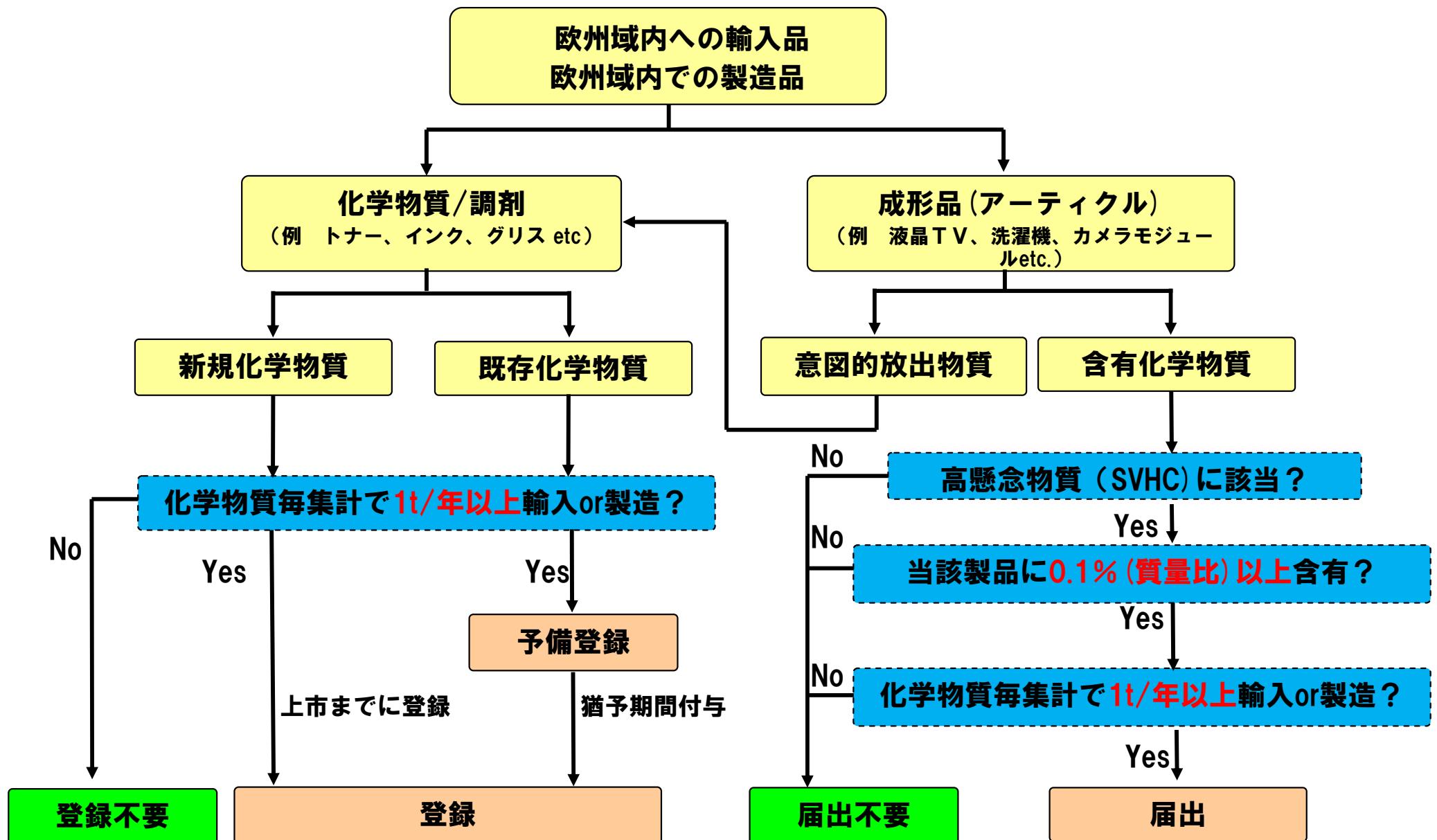
② 管理物質の増加 …… すべての含有物質を管理(量も)

③ 管理深度の増加 …… 物質の登録/届出、技術資料が必要

部材調達先から効率的に情報収集するための仕組みが必要

収集なくして法令順守なし

REACH規則の義務（フロー）

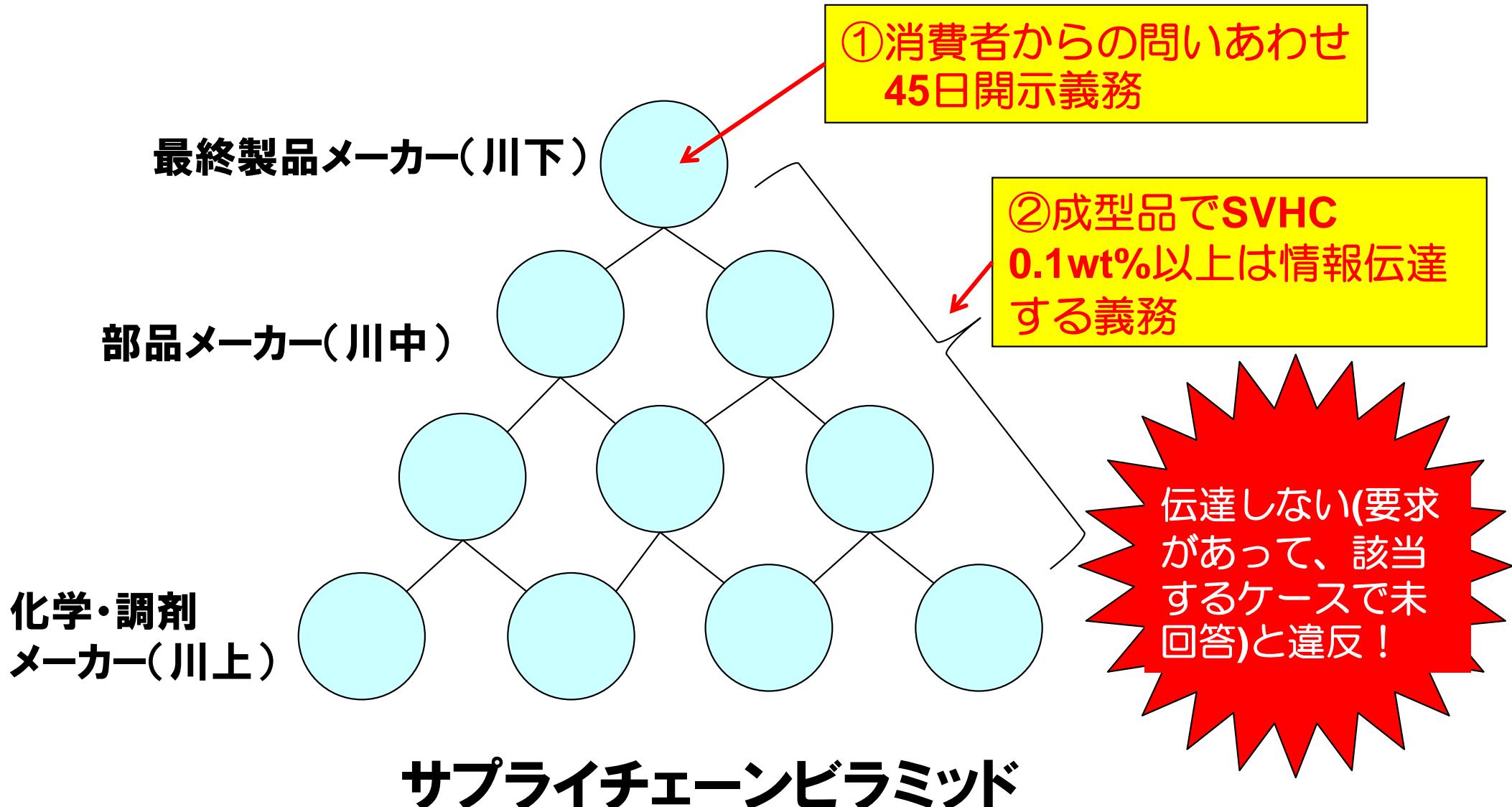


成形品メーカーの義務

条 項	要 件	提供するもの	開始時期
第7条2項 (届出義務) 製造事業者（又は輸入事業者）当たり、年間で総量が1トンを超えている化学物質で、高懸念物質（SVHC）に該当し、成形品中に0.1重量%を超える濃度で含有される場合が対象（第7条）	年間で 総量が1トン以上 で 高懸念物質が製品中に0.1 Wt%以上 の濃度で含有する 場合	会社の情報、物質の情報（用途、分類等）、トン数の範囲、成形品の使用目的・用途等	2011年6月 (No DATA No Market)
第33条 (情報伝達・開示義務) 成形品（アーティクル）の供給者は、受給者に、消費者の要求があれば消費者にも、高懸念物質の情報を伝達しなければならない（第33条）	高懸念物質が製品中に0.1 Wt%以上 の濃度で含有する 場合 注意：1トン条項がない	最低限当該物質を含む、当該製品を安全に使用するのに必要な情報 (消費者には、要求を受けてから45日以内に情報伝達が必要)	既に開始 結構摘発されている模様

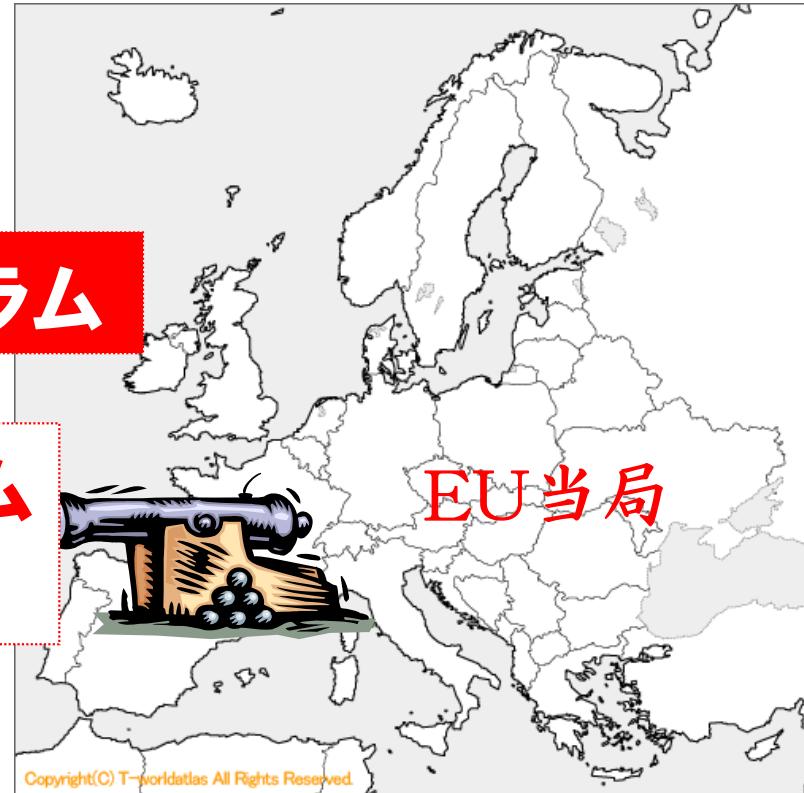
第33条の解説

●川下メーカーだけの法律ではない！



いかにしてEU当局を納得させるか？

●まずやることが最重要！



ECHA Guidance Guidance for the implementation of REACH

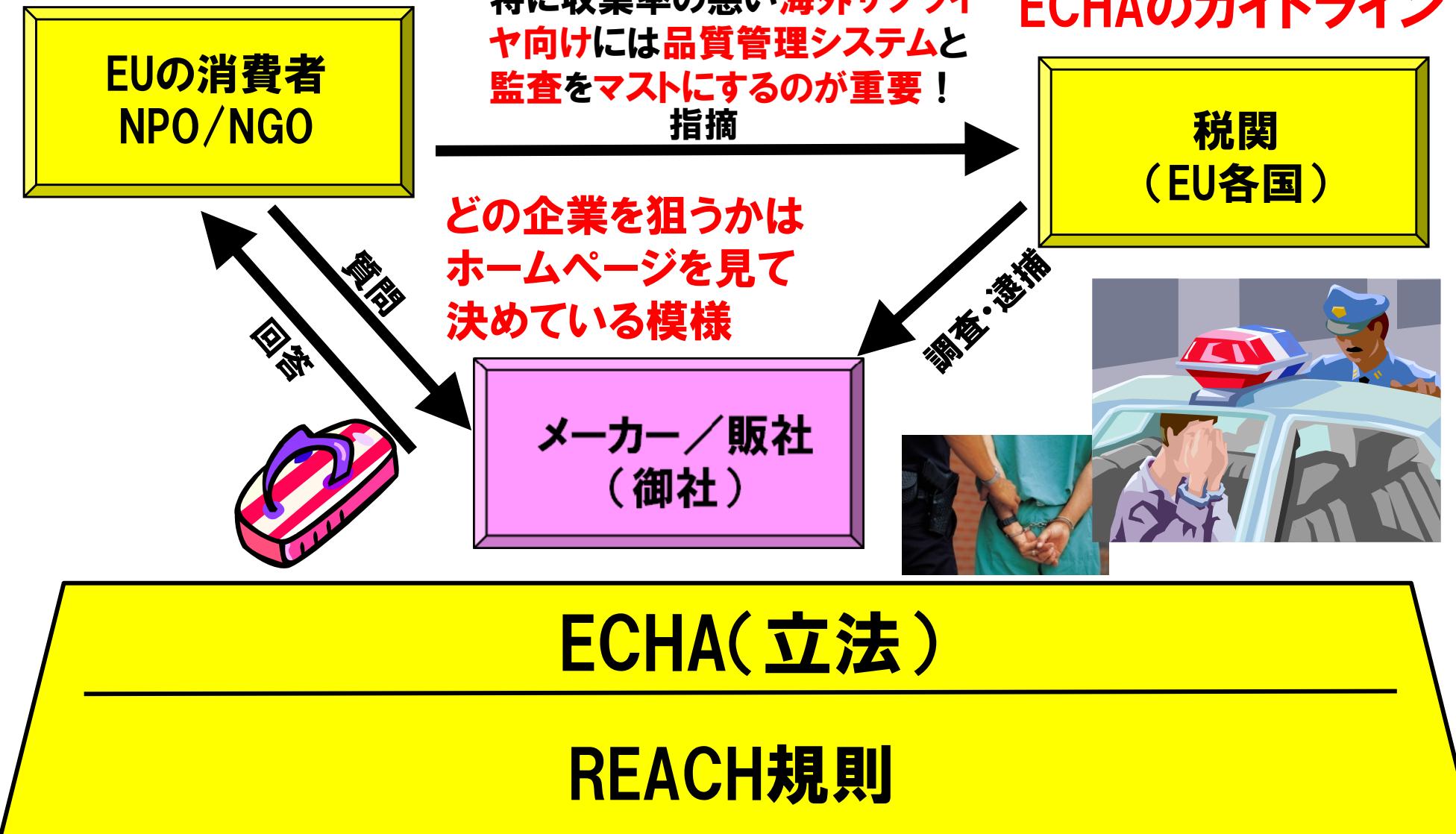
「今回、EU ECHA（化学品庁）のガイダンスのドラフト2.1
(2/9/2010) 発表で、有害化学物質の情報が正確に管理されているか否
かは、品質管理システムが運用されていて、第3者の証明書等を含み
監査が実施されているかが重要である事を定義している。」

ITツールGREENeBASEが御社を強力にガードします

ターゲットにならない／説得できる準備

●REACH33条の摘発フロー

基準は立法である
ECHAのガイドライン？



必要条件 (EU当局を納得させるもの)

●4つのマスト(GREENeBASE)と第3者の監査(SGS様)



サプライヤの課題・共有と改善方向

AIS、JGPSSI、
JAMA
不使用証明書
分析データ
SOC4……



2次サプライヤ



化学物質管理って何?
不使用証明書、
分析データはどの部署?
AISとJGPSSIと独自フォ
ーマットの転記作業

AIS、JGPSSI
不使用証明書
分析データ



JAMA
SOC4非含有証明
X

フォーマットがいっぱい!
エビデンスもいっぱい!
積算計算がたいへん

1次サプライヤ



化学物質管理って何?
不使用証明書、
分析データはどの部署?
AISとJGPSSIと独自フォ
ーマットの転記作業

AIS、不使用証明書



御社

JGPSSI、分析データ



他バイヤ

回答がこない
依頼に回答できない

1次サプライヤだけでなく、2次以降のサプライヤにも収集ソリューションを提供する
「各フォーマットに対応できる4つマストを無償で提供する」ことが課題解決の近道！
サプライヤが提供しやすいフォーマットで貰うことも収集方法改善につながる

収集なくして提供なし

4つのマストとGREENeBASE

4つのマスト+ α とGREEN eBASEラインナップ

●無償版でも4つのマストに対応！

	4つのマスト(REACHリスク低減、必要条件)				プラス α (効率化機能)				管理点数	備考	参考
	①収集	③提供	②管理・積算	④分析	進捗管理	共有	連携	Web配信			
無償コース (eBASEjr.ベース)	○(80%)	△(50%)	△(50%)	○(60%)	×	×		×	~3000	完全無償利用ITツール 1台1名利用、3000点程度まで	
小梅コース (eBASEjr.ベース+プリペイド式) ※eB-PointService	○(80%)	△(70%)	△(50%)	○(80%)	×	×		×	~3000	上に加えて、・プリペイド型従量課金方式を利用して、一括でAIS/JGPSSI等を出力可能、データ提供の大幅効率化可能。	プリペイドカード ・10000 point 1万円 ・20000 point 2万円 ・50000 point 4万円
梅コース (スタンダード機能フル) ※eBASE-std.	○(80%)	○(80%)	○(80%)	○(80%)	×	×		×	~3000	データ提供機能が大幅に向上 1台1名利用、3000点程度まで	43万円+L&S10万円
竹コース (廉価版サーバー) ※SmalleBASEserver	◎(100%)	◎(100%)	◎(100%)	◎(100%)	×	○ (5名まで)	△ (カスタマイズ)	×	~15,000	データ収集機能が大幅に向上 5名まで共有利用、15,000点程度まで	300万円～
松コース (サーバータイプ) ※eBASEserver	◎(100%)	◎(100%)	◎(100%)	◎(100%)	○	無制限	○ (カスタマイズ)	○	15,000～	データ収集機能が大幅に向上 無制限利用、15,000点以上	550万円～

GREEN eBASEの特長

特長①:データベース機能／ツールアップデート機能

特長②:ドキュメント(エビデンス)/製造工程管理機能

特長③:各種標準フォーマットにマルチ対応
(JGPSSI/AIS/JAMA+各種調査・証憑等)

2次以降のサプライヤに
“4つのマスト”を提供

特長④:JGPSSI/JAMAでもサプライチェーン間で積算が可能！

特長⑤:データ送受信(EDI)機能

特長⑥:MSDSplus→AIS、AIS→JGPSSI変換が可

大幅な効率化、
コストダウンに貢献！

特長⑦:各フォーマット一括登録(引っ越し)、一括出力が可能！

特長⑧:複数レコードの依頼/発行者各項目の一括編集が可能

特長⑨:提供先毎にDB領域保持とマスタとの自動連携が可能



マイコンピュータ 20090823162...



マイ ネットワーク アプリケーション
ML2



ごみ箱



e-BAS



Kat's
Playground2



格納



00008.jpg
00017.jpg
00018.jpg
部品W.xml

00001.jpg
00021.jpg
部品C.xml
00009.jpg
00020.jpg
部品V.xml
00016.jpg
部品T.xml

部品B.xml
部品D.xml
00007.jpg
部品L.xml
00010.jpg
部品Q.xml
部品S.xml

00002.jpg
部品E.xml
00006.jpg
部品K.xml
00014.jpg
00015.jpg
部品R.xml

TESTData.jpg
部品F.xml
00005.jpg
部品J.xml
00011.jpg
部品M.xml
部品P.xml
部品Y.xml

test.xml
00003.jpg
00004.jpg
00012.jpg
部品I.xml
部品N.xml
部品X.xml
部品Z.xml

00019.jpg
部品G.xml
部品H.xml
00013.jpg
部品O.xml

溢れ返るJGPファイル、AISファイルの山を



スタート

Internet Explorer

C:\Documents and Settings\...
C:\Documents and Settings\...

10:30



マイ コンピュータ 20090823162...



マイ ネットワーク アプリケーション
ML2



ごみ箱



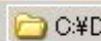
データ
ベース



Kat's
Playground2



スタート



C:\Documents and Setti...

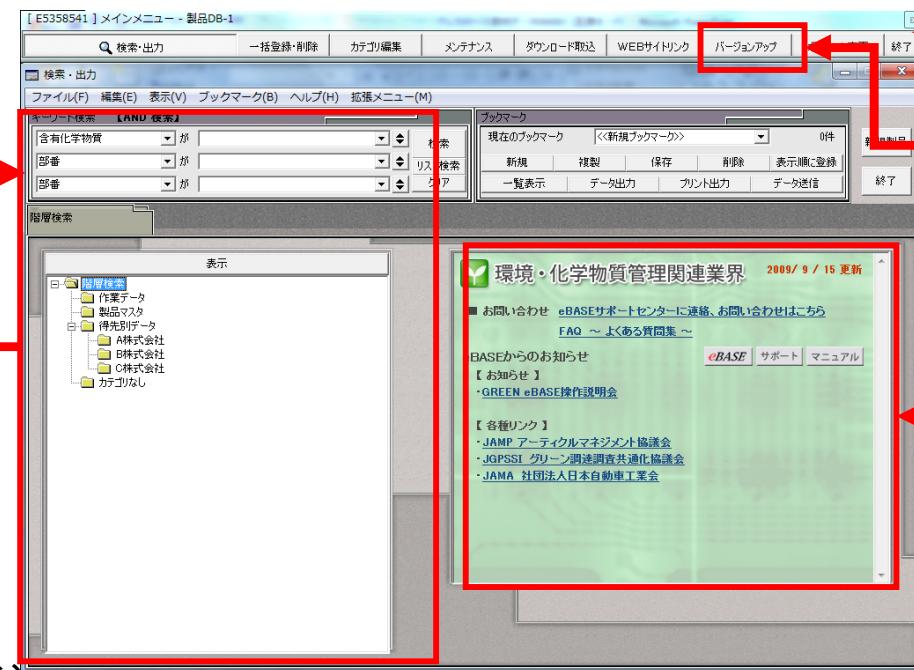


10:31

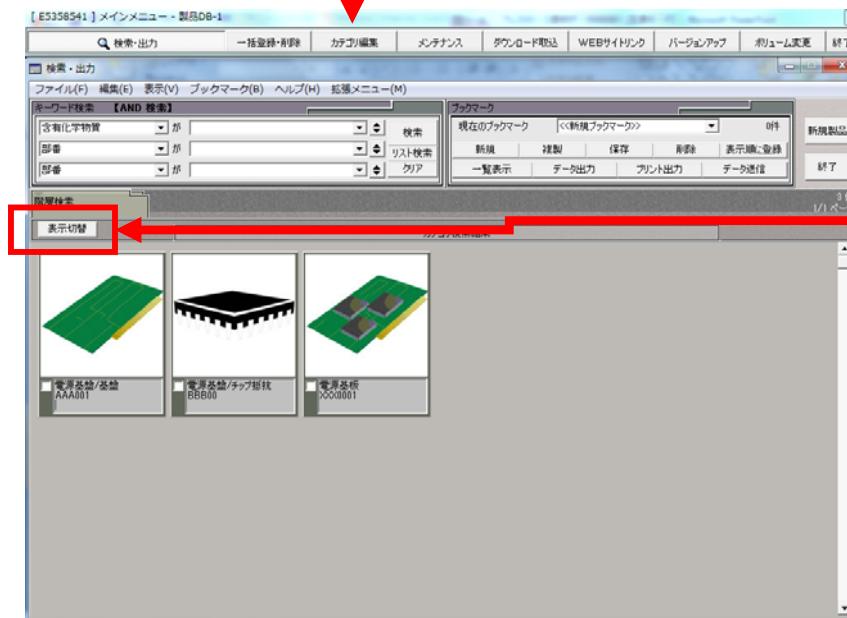
特長①:データベース機能等

(2) データベース検索機能

製品名や型番、含有材料、分類等で検索することができます！



(4) -1一覧表示機能(画像)



(1) バージョンアップ機能

刻々と変わる回答ツールや法規制に対応したプログラムとデータ構造をボタンクリックで簡単にアップデートできます(インターネット経由)！

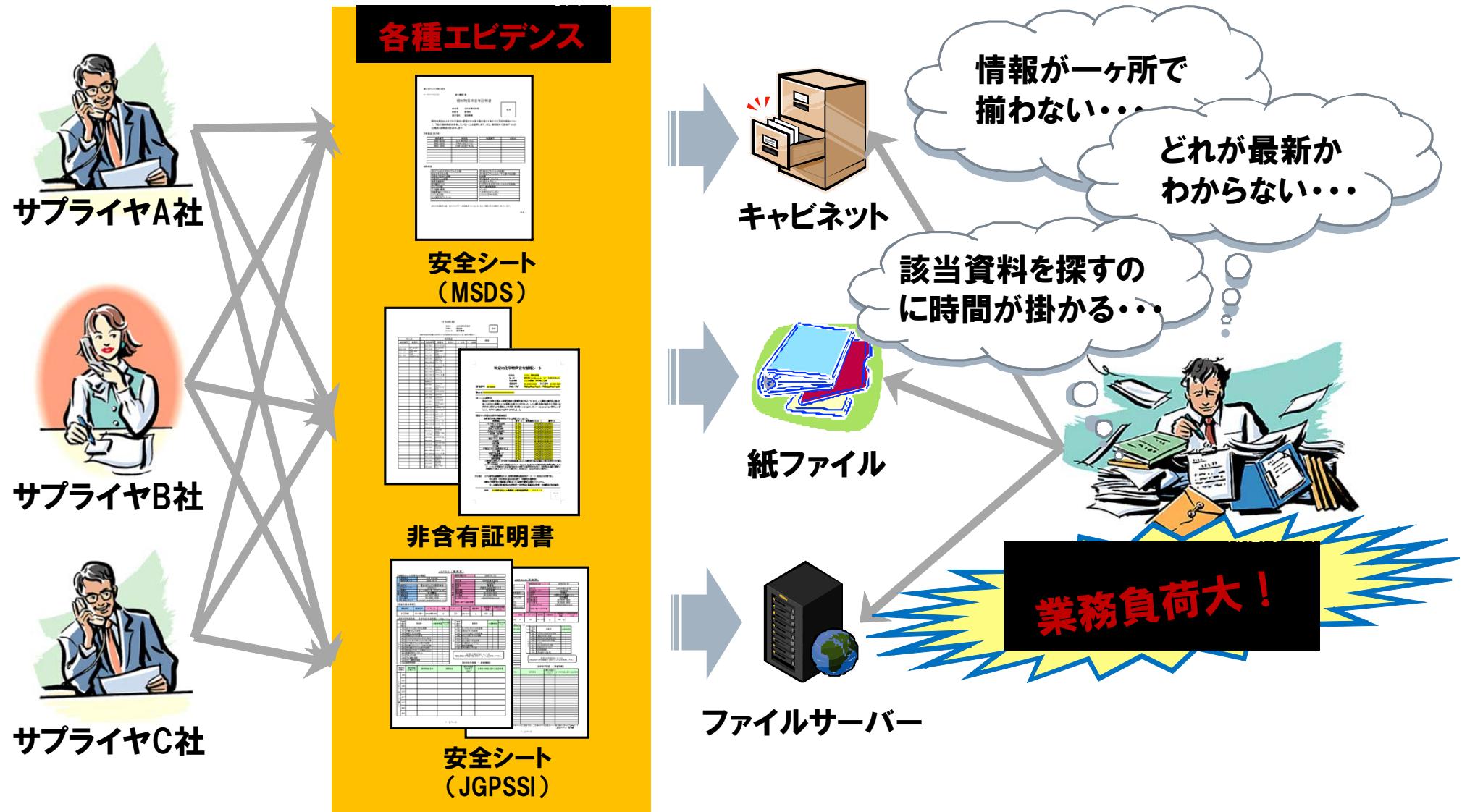
(3) Web情報提供画面

各種更新情報や関連情報をWeb画面として情報提供します

(4) -2一覧表示機能(文字項目)

エビデンス管理の現状

- 従来、製品に関する各種エビデンスは個別に管理されていました



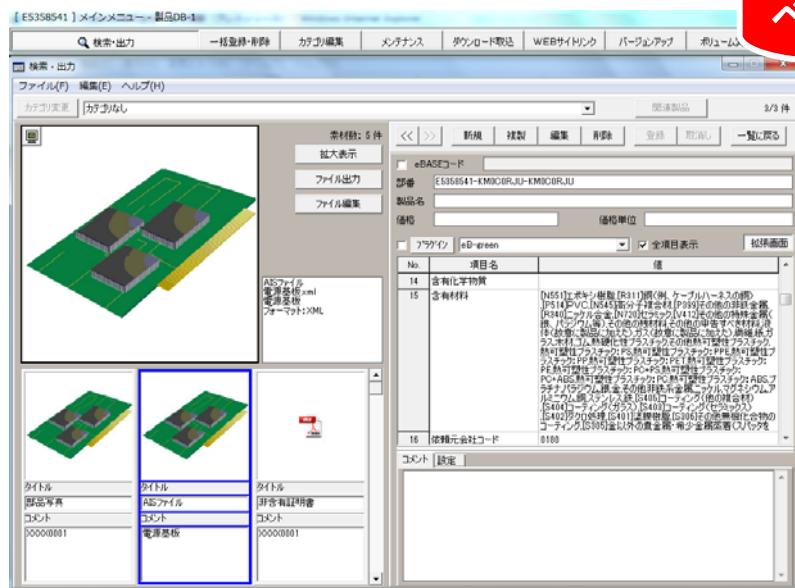
特長②:ドキュメント(エビデンス)管理機能

<各種環境管理ドキュメント/エビデンス類>



証憑登録

(1) 標準eBASE管理画面

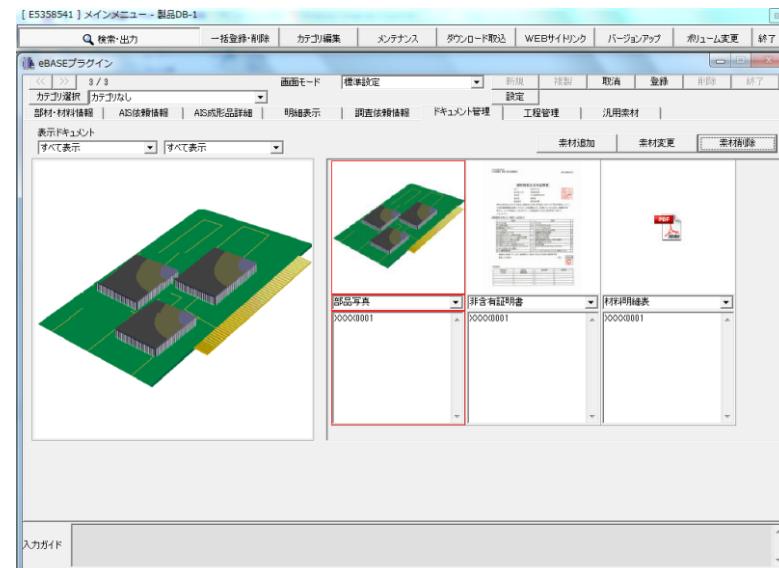


データ
ベース

一括管理データベース化

製品部品情報・AIS/JGPSSI等の数値
データと一緒に管理できます！

(2) GREEN eBASE専用管理画面



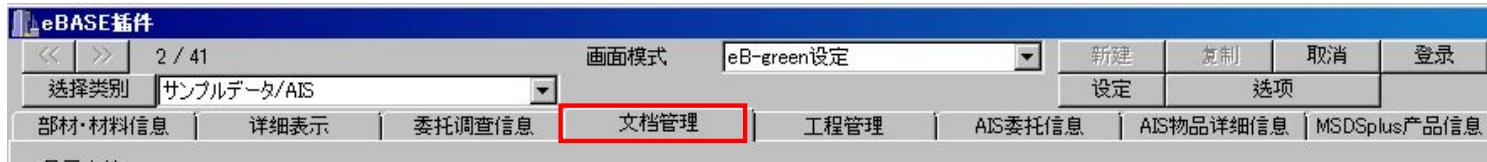
特長②:ドキュメント(エビデンス)管理機能

■エビデンスの管理

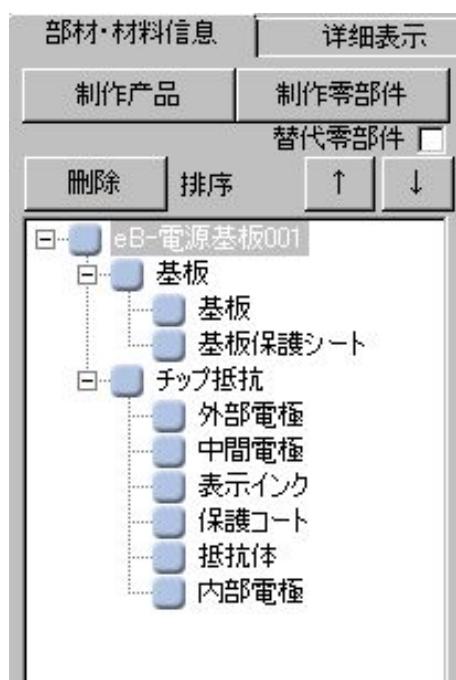
素材として管理して、一括収集に利用！

①エビデンスの管理方法について

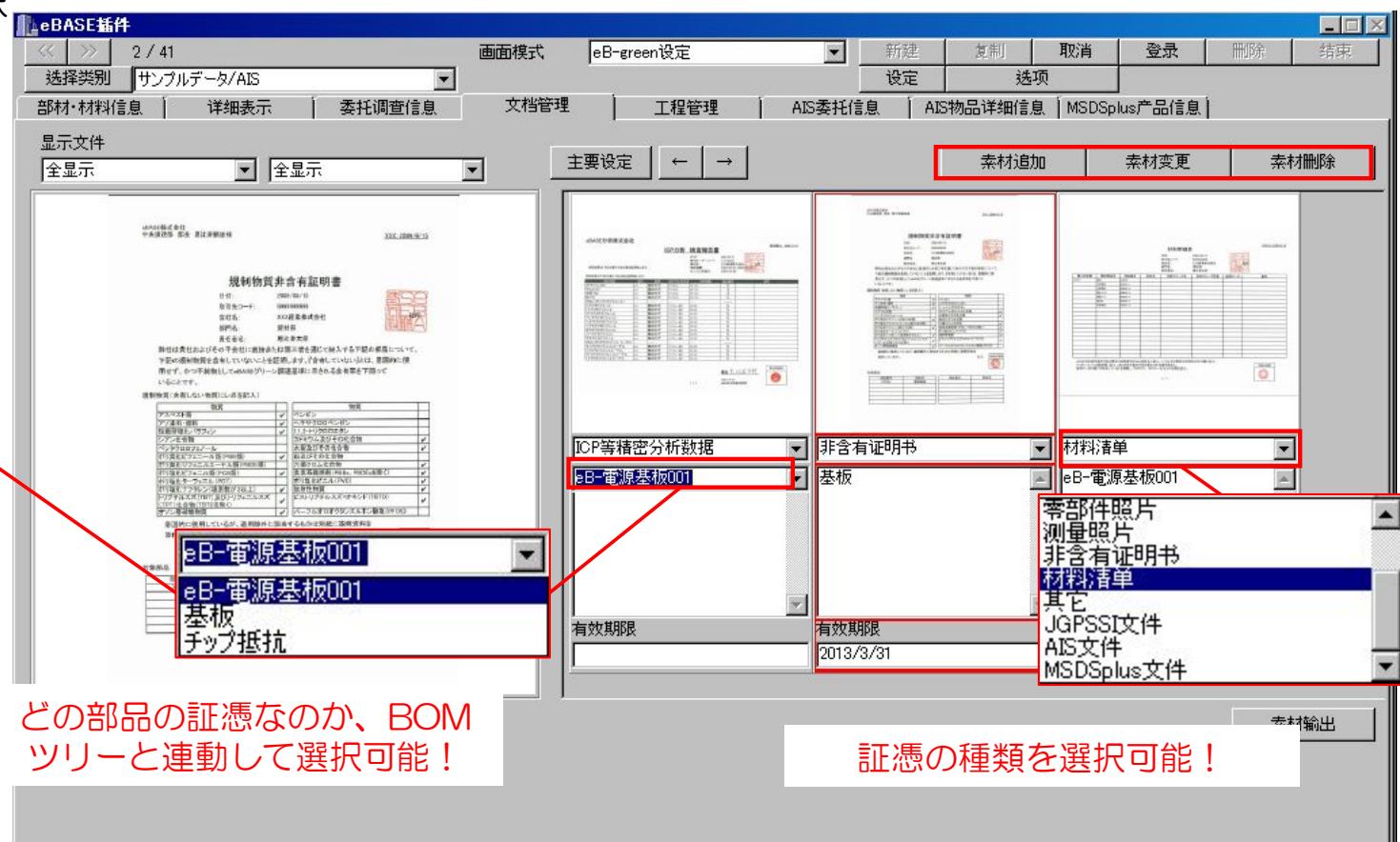
PDFでもJPEG（社印入りの証憑）でも該当部品と紐付けて一括管理することが可能です。



①「ドキュメント管理」タブを選択



どの部品の証憑なのか、BOMツリーと連動して選択可能！



証憑の種類を選択可能！

20

特長②:ドキュメント(エビデンス)管理機能

■エビデンスの管理（更なる機能）

①製造工程図、製造工程の管理について

最も含有事故の多い、サプライヤの製造工程も一緒に管理可能です。しかも、サプライヤからデータ収集しますので、入力負荷がありません。

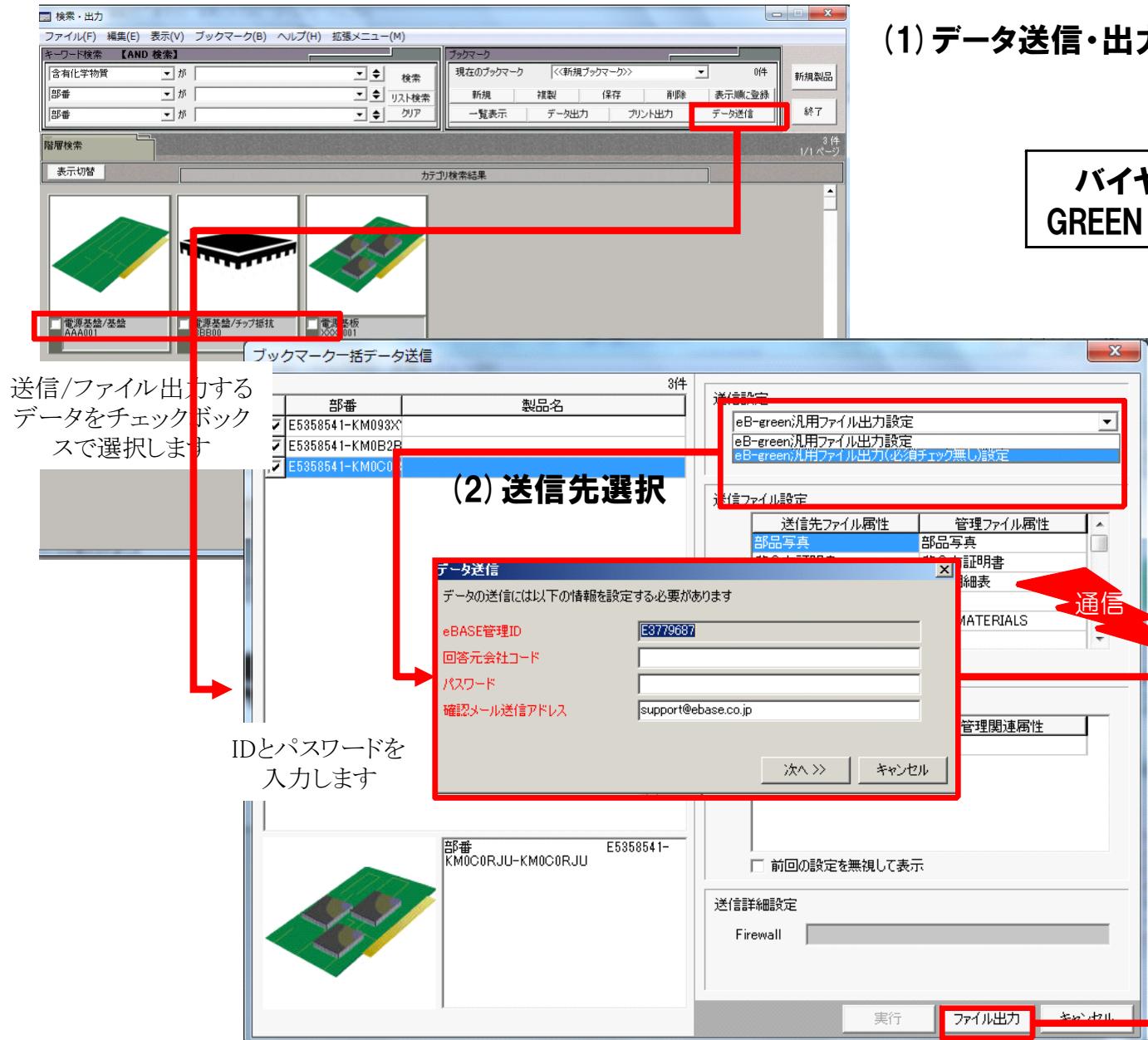
	工程名	設備	管理項目	管理方法	管理基準	管理頻度	予想リスク	記録日報
1	1穴あけ	機械A	油と工具	油と工具の型番確認	管理証憑/MSDS/MSD:	型番が変更時に収集	他ライン/材料とのコンタミ	
2	2スルーホールメッキ	機械B	メッキ材料	証憑管理されているメッキ	管理証憑/MSDS/MSD:	型番が変更時に収集	他ライン/材料とのコンタミ	
3	3バーニング	機械C					他ライン/材料とのコンタミ	
4	4ソルダーレジスト形	機械D			管理証憑/MSDS/MSD:		他ライン/材料とのコンタミ	
5	5文字印刷	機械E	インク	証憑管理されているインク	管理証憑/MSDS/MSD:	型番が変更時に収集	他ライン/材料とのコンタミ	
6	6端子部メッキ	機械F	メッキ材料	証憑管理されているメッキ	管理証憑/MSDS/MSD:	型番が変更時に収集	他ライン/材料とのコンタミ	
7	7はんだレベラー	機械G	はんだ	証憑管理されているはんだ	管理証憑/MSDS/MSD:	型番が変更時に収集	他ライン/材料とのコンタミ	有
8	8外形加工	機械H					他ライン/材料とのコンタミ	
9	9バーコードラベル貼	機械I	インク	証憑管理されているインク	管理証憑/MSDS/MSD:	型番が変更時に収集	他ライン/材料とのコンタミ	
10	10クリームはんだ	機械J	はんだ	証憑管理されているはんだ	管理証憑/MSDS/MSD:	型番が変更時に収集	他ライン/材料とのコンタミ	有

製造工程の
編集ボタン

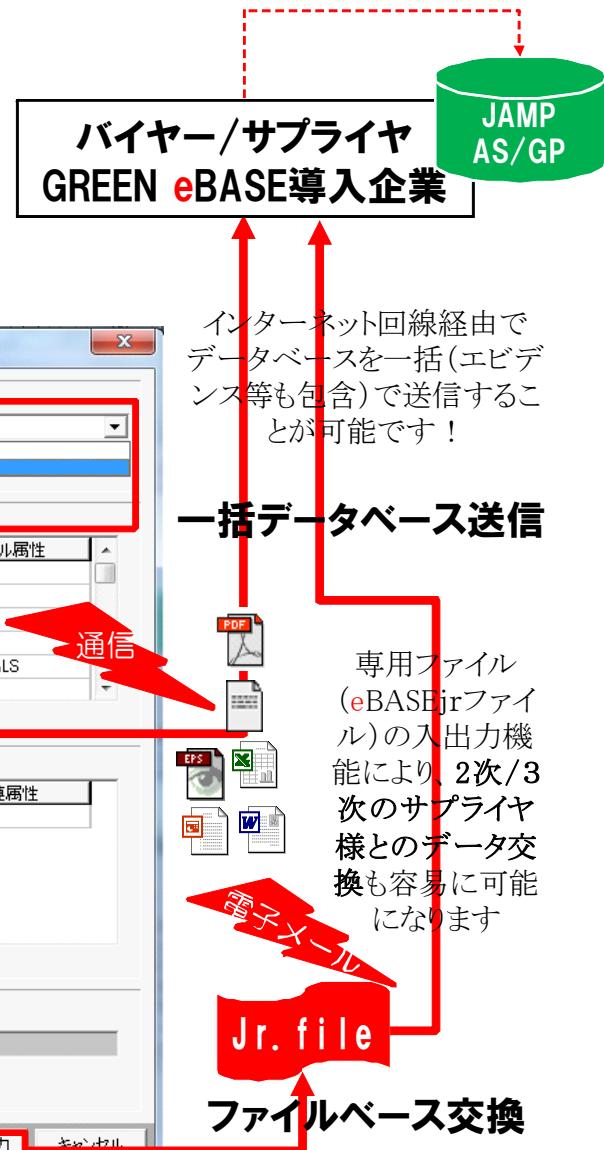
管理することに
より、例えば
「鉛の含有事故」
が発生した場合、
ハンダの工程を
検索することが
可能になります。

QC工程図
のExcel
データを管
理可能！

特長③:データ送受信機能/ファイル交換機能



(1) データ送信・出力ボタン



GREEN eBASEの業界貢献について

①無償操作説明会のご提供

東京・大阪 合わせて月1回程度開催

②サプライヤ説明会支援のご提供

③専用サポート窓口を開設・運用

GREENeBASEを含む全eBASEユーザー5.9万対象に運用中…

過去1年間での説明会貢献実績

自社開催：25回

お客様開催分(国内)：48回

お客様開催分(海外)：2回

※食品関係での実績はのべ2,000回以上

最適な運用モデルの御提案

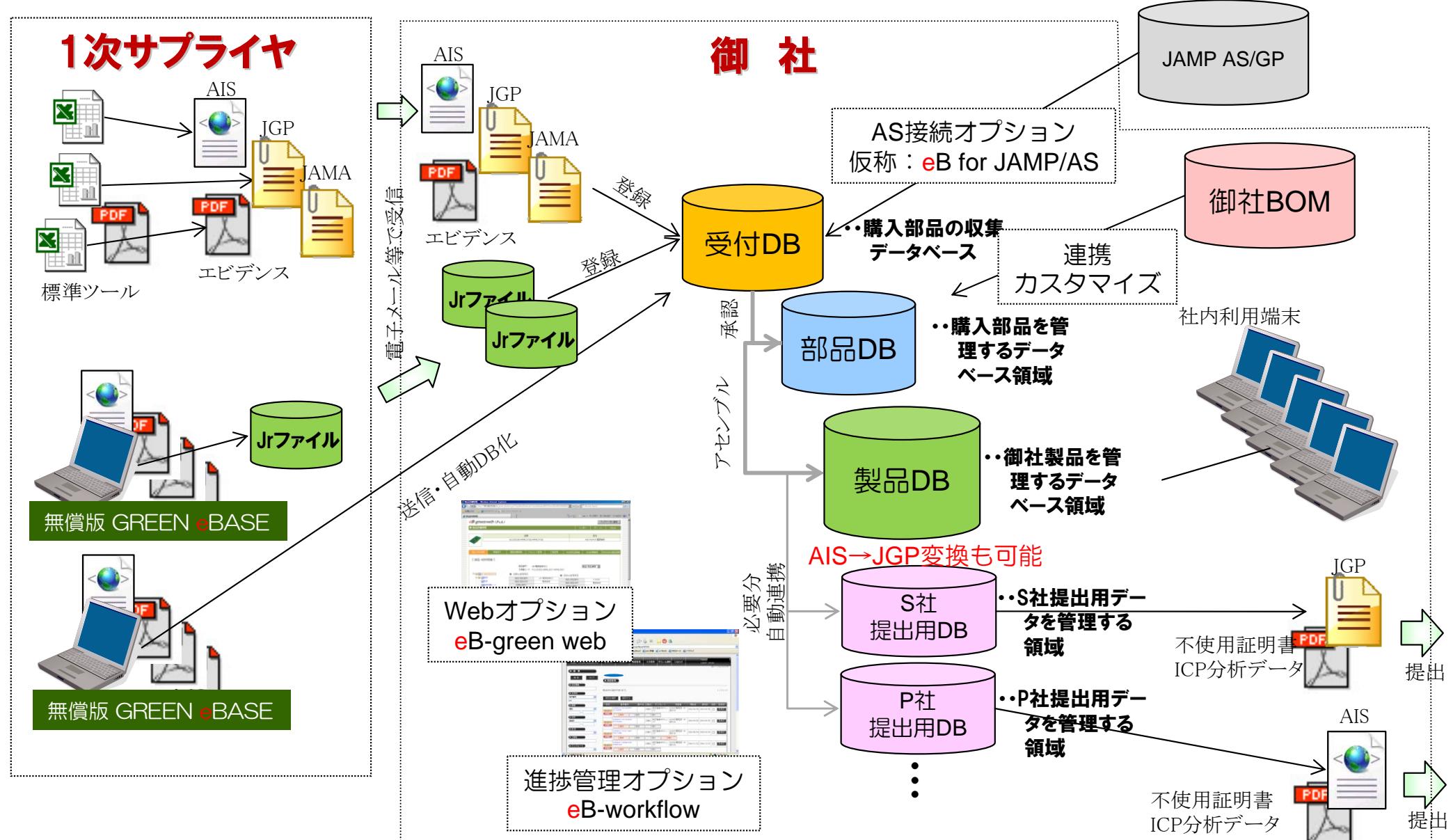
収集部分の運用モデル

●2次以降のサプライヤにも無償版GREEN eBASEを提供！



管理部分の運用モデル

●拡張高く、コストダウンできるしくみ



GREEN eBASEによる課題解決まとめ

REACH
課題解決①

サプライチェーン全体コストダウン、収集課題改善！

1次、2次以降サプライヤ向けに4つのマストを無償提供することにより、含有情報(数値)十証憑+製造工程等の一括DB化と送受信による全体効率化を実現します。万全の支援体制(専用サポート+無償操作教育+説明会支援)で御社の収集課題を改善します。

REACH
課題解決②

提供業務の効率化、コストダウン！

各フォーマット一括登録(引っ越し)、一括出力機能、複数レコードの依頼/発行(回答)者各項目の一括編集機能、MSDSplus→AIS、AIS→JGPSSI変換機能により提供業務の効率化を実現します。提供先毎にDB領域保持とマスタとの自動連携が可能なため、提供先毎に異なる方言的なルールにも対応できます。

REACH
課題解決③

高い拡張性とバージョンアップ！

OR2ISシート等の新しい情報交換オプション、調査依頼オプション、AS接続オプション、Web配信オプション等必要なもの簡単に追加可能です。どんどん追加・変更される法律にパッケージソフトウェアがバージョンアップで対応するため、追加開発コストが不要です。

収集なくして課題解決なし

ご清聴いただき誠にありがとうございました。

ご不明点は下記までご遠慮なくお申しつけ下さい。

■ 担当 eBASE株式会社 市場開発部 谷野賢次

携帯電話 : 080-3783-1379

電子メール: tanino@ebase.co.jp

〒531-0072 大阪市北区豊崎5-4-9 商業第二ビル2F

【TEL】 06-6486-3927 【FAX】 06-6486-3956

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-20-1 藤和八丁堀ビル6F

【TEL】 03-3523-4004 【FAX】 03-3523-4005